

平成 29 年度  
亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
評価検証報告書

亀山市

総合政策部政策課

## 【目次】

1. 評価検証に係る基本的な考え方	1
(1) 評価検証の目的	1
(2) 評価検証の対象及び手法	1
(3) 評価検証の流れ	1
2. 評価検証の具体的な方法	2
(1) 総合戦略の評価検証について	2
(2) 地方創生関連交付金活用事業の効果検証について	4
3. 総合戦略の評価検証	5
(1) 基本事項	6
(2) 総合戦略全体の評価	7
4. 地方創生関連交付金活用事業の効果検証	17
(1) 若者交流推進事業	18

## (参考資料)

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成 29 年度対象事業一覧	20
----------------------------------	----

## 1. 評価検証に係る基本的な考え方

### (1) 評価検証の目的

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)に位置付けた各施策の更なる推進に向けた課題の改善を図り、より一層高い効果を発揮させることを目的として、評価検証を行う。

また、総合戦略に位置付ける事業の一部は国の地方創生関連交付金を活用しており、その実施計画及び地域再生計画において、各事業の検証を行い公表することが明記されていることから、交付金活用事業の評価検証を併せて実施する。

### (2) 評価検証の対象及び手法

本検証は、「総合戦略の施策評価」及び「地方創生関連交付金活用事業の事業評価」で構成する。

評価対象	手法
総合戦略	総合戦略全体の総括評価・各基本目標の施策評価
地方創生関連交付金事業	KPIの検証を中心とした事業評価

また、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証の考え方に基づき、「数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI)」の達成度を確認し、結果重視の検証を行う。

《国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2017改訂版)」より抜粋》

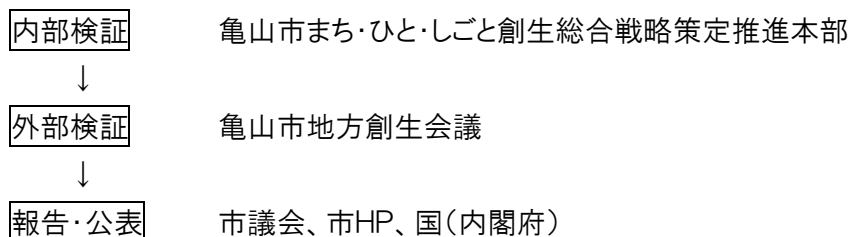
#### (5) 結果重視

効果検証の仕組みを伴わないバラマキ型の施策は採用せず、明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

### (3) 評価検証の流れ

「亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部」での内部検証、外部有識者で構成する「亀山市地方創生会議」での外部検証を行う。また、検証結果については市議会に報告するとともに、市HPで公表する。

地方創生関連交付金活用事業の検証結果については、必要に応じ、県を通じて国に報告する。



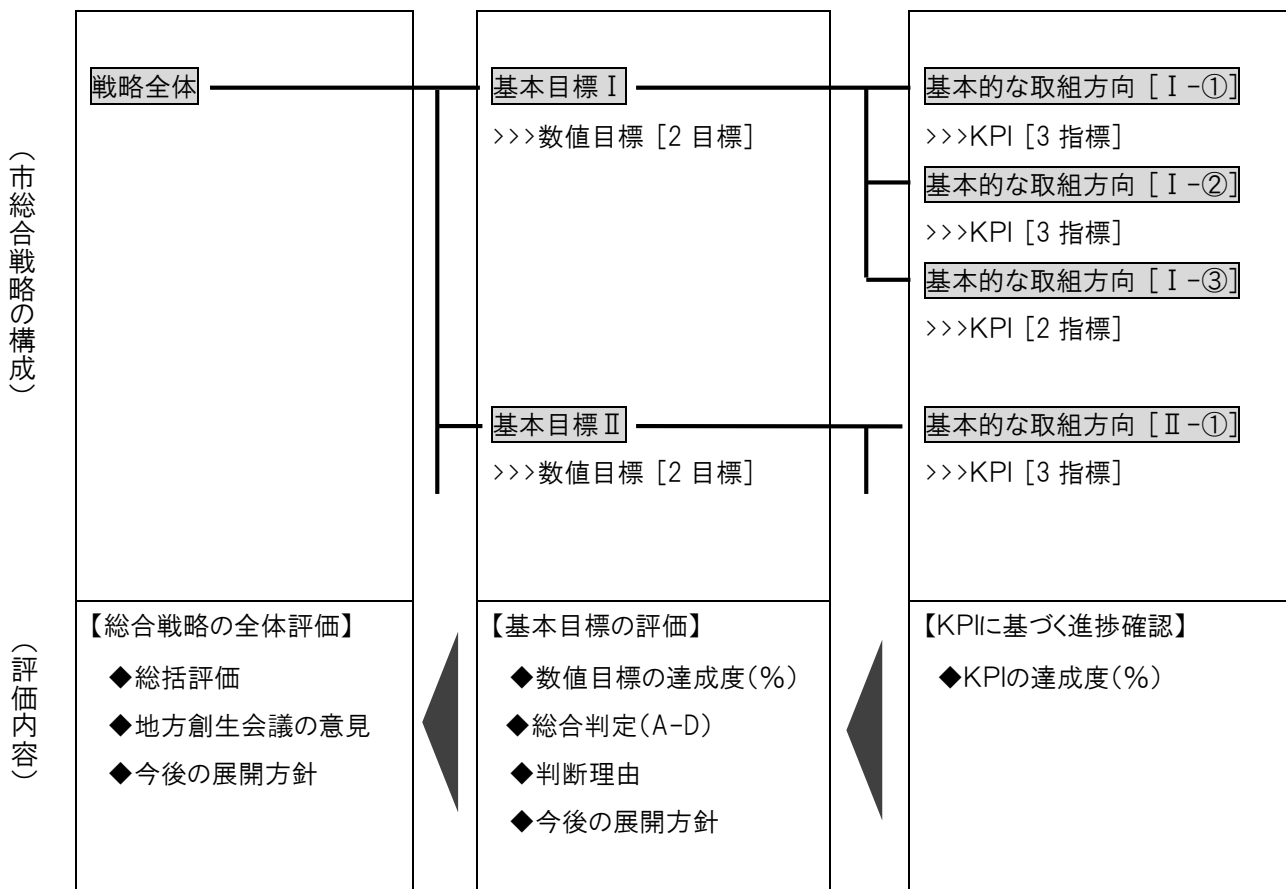
## 2. 評価検証の具体的な方法

### (1) 総合戦略の評価検証について

総合戦略の評価検証は、「総合戦略の全体評価」、「基本目標の評価」及び「基本的な取組方向の進捗確認」で構成する。

なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標」、及び10の基本的な取組方向毎に設定した「重要業績成果指標(KPI)」の達成度を確認するとともに、それらの達成状況等に重点を置いて評価する。

-総合戦略の評価検証(全体イメージ)-



【評価区分及び項目に関する説明】

①総合戦略全体

項目	記述内容
(1)総括評価	「基本目標の評価」を踏まえた戦略全体の総括
(2)地方創生会議の意見	市の総括評価に対する地方創生会議の意見
(3)今後の展開方針	「基本目標の評価」及び「地方創生会議の意見」を踏まえた戦略全体の今後の展開方針

②基本目標

項目	記述内容
(1)数値目標の進捗	実績値、達成度
(2)基本目標の評価	総合判定(A-D)、総合判定の判断理由
(3)今後の展開方針	評価を踏まえた今後の展開方針

【総合判定区分】

A:順調に進んだ B:まずまず進んだ C:少し進んだ D:進まなかった

【総合判定の基本的な考え方】

原則として、数値目標及び基本的な取組方向毎に設定した「重要業績成果指標(KPI)」の達成度に重点を置き、その他の考慮すべき事項等も勘案して、総合的に判断する。

③数値目標及びKPIの達成度について

目標値に対する実績値の達成度合いを確認するため、達成度を算定する。

〈達成度の算定方法〉

$$\text{達成度}(\%) = \text{実績値} / \text{目標値} \times 100$$

## (2) 地方創生関連交付金活用事業の効果検証について

### ① 地方創生関連交付金活用事業

交付金の種別	事業名	担当課
地方創生推進交付金	若者交流推進事業	政策課 (政策調整 G)

### ② 検証方法

地方創生関連交付金活用事業の検証に係る項目等については、原則として国が求める評価項目に準じ、下記のとおり項目設定して評価を行う。

項目	内容
実績	取組内容等の年度実績
効果	地方創生への効果の有無(4段階)
重要業績評価指標(KPI)	指標値及び実績値
外部有識者の総合評価	総合戦略のKPI達成への有効性の有無(2段階)、意見
今後の事業展開	改善・継続等の有無、事業展開の考え方

### 3. 総合戦略の評価検証

## (1)基本事項

### ①戦略の位置付け・目的

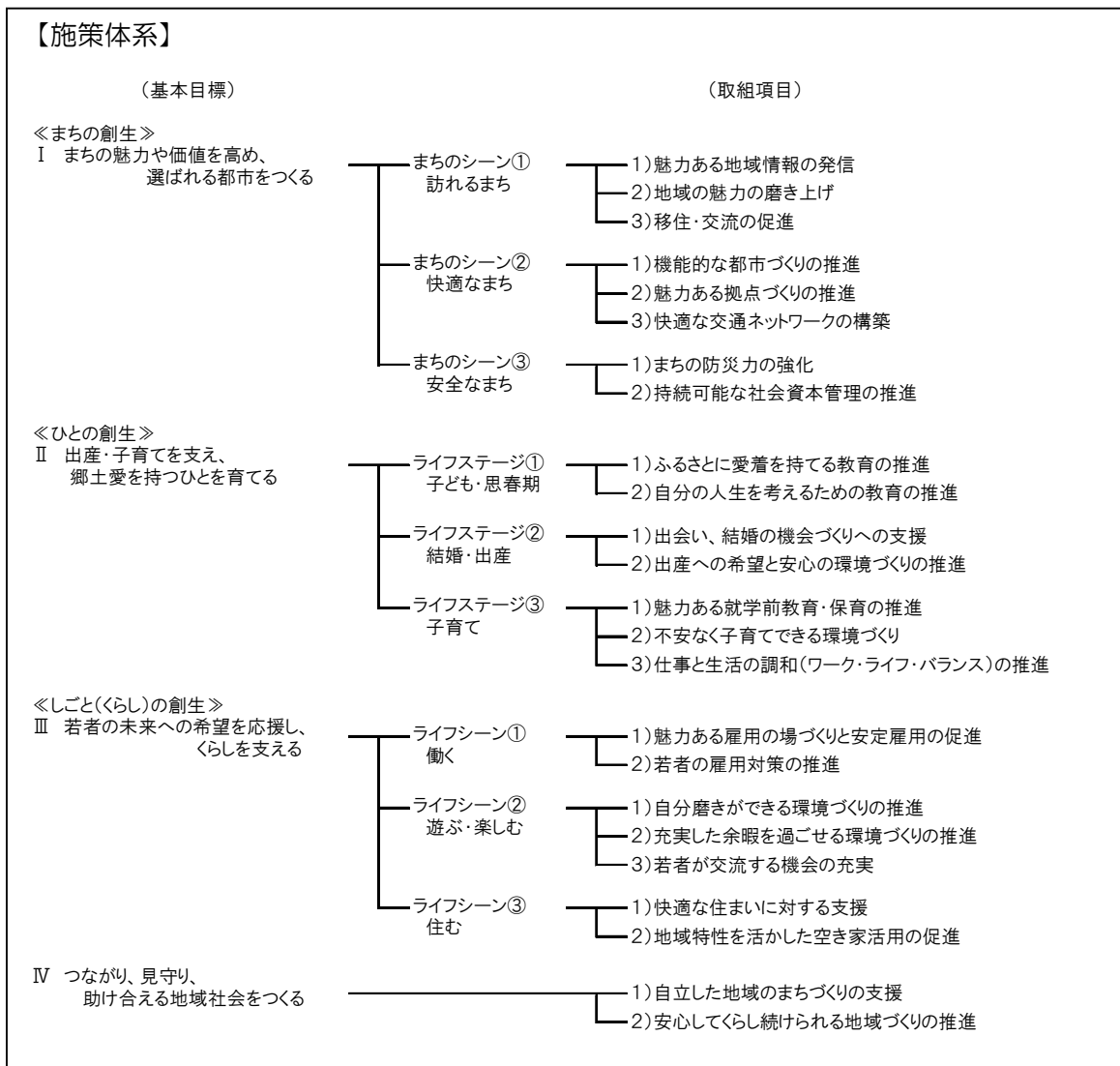
本総合戦略は、平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に位置づけられる地方版総合戦略として、「亀山市人口ビジョン」と一体的に策定している。

策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び、県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに、市の最上位計画である総合計画との整合を図っている。

### ②戦略の期間

平成 27 年度から平成 31 年度(平成 28 年度一部見直し)

### ③戦略の骨格





## (2)総合戦略全体の評価

### ①総括評価

本市における人口の自然増減については、合計特殊出生率はわずかに実績値が向上しているものの、出生数は減少した。一方、社会増減については、平成 28 年度及び平成 29 年度の転入超過によって目標値を上回る実績値となり、総じて、平成 28 年度末に比して平成 29 年度末の人口は微増の傾向にある。

なお、出生数の減については、若年女性の人口が減少していることが原因と考えられるほか、転入超過については、外国人人口の増加が主因であることが考えられる。ただし、外国人人口の増減については、市内企業の雇用環境など社会情勢の影響を強く受けるものであることから、人口確保の観点における本戦略の効果については、単年度の実績のみで測れるものではない。

このため、引き続き、各数値目標等の目標値達成に向けて着実に事業を推進するとともに、中期的な視点で進捗を確認していく必要がある。

### ②地方創生会議の意見

若者の転入・定着を促進するためには、亀山ならではの特色を生かして、若者が亀山でどのような働き方や暮らし方ができるか、どのような人生設計を描けるかといった具体的なロールモデルを示すことにより、生活をよりイメージしやすくすることも一つの方法である。

また、市が、人材不足が課題となっている企業等と子育てをしながら働きたい人とのマッチングの機会を設けるなど、子育てと仕事を両立できる環境づくりを推進することにより、子育て世帯が住みやすいまちとしてのPRに繋がることが考えられる。

これらの取組については、効果的に情報を届けられるように工夫をするとともに、官民一体となって亀山の魅力を発信していくことが重要である。

なお、本戦略に掲げるKPIの内、明らかに進捗に遅れが見られるものについては、取組内容を見直すなど、目標値達成に向けて具体的な対策を図られたい。

### ③今後の展開方針

自然増に向けた対策については、若年女性の転入・定着を促進するとともに、安心して産み育てられる環境づくりを推進する必要がある。このことから、妊娠期から子育て期までにわたる切れ目のない支援を行うとともに、共働き世帯でも無理なく子育てができるよう、保育・教育に係るサービスを充実させ、子育て世帯が住みたいと思えるようなまちづくりに向けた取り組みを行っていく。

一方、社会増に向けた対策については、引き続き、企業立地の推進や起業支援等を通じて、若年世代にとって魅力的な雇用環境の創出を図るとともに、中心市街地等の整備をはじめとした地域のにぎわいづくりを促進し、定住人口の増加を目指す。

また、これらの取り組みを含めた本市の魅力を発信するため、効果的なプロモーションを行うとともに、訪れるまち・住むまちとして選ばれるよう、本市の豊かな自然環境や歴史・文化資産のより一層の保全・活用を図り、交流人口の増加及び転入増を図っていく。

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(平成29年度)

基本目標	I まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる
------	--------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
社会増減数 (転入数－転出数) (人)	43 (22－26年 度)	-149 (23-27)	10 (24-28)	376 (25-29)			357 (27－31年 度)	105%
数値目標の説明	5年間の社会増減の合計							
目標値設定の考え方	H29.2.改訂の亀山市人口ビジョンの人口展望に基づき、平成27年(4月1日:基準日)から平成32年(3月31日)までの社会増減を5年間の目標として設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
観光入込客数(人)	261,031 (26年度)	306,650	254,581	248,902			347,000 (31年度)	72%
数値目標の説明	対象施設(歴史博物館、玉屋資料館、道の駅関宿、サンシャインパーク、名阪森林パークおよび石水溪キャンプ場施設)の観光客数							
目標値設定の考え方	H29.2見直し。(総合計画の目標値と精査) 総合計画の指標は、H27年度(306,650人)に対して、地域の魅力を磨き上げ、発信することで、市内に訪れる観光客を20%増加させることを目標とした。戦略では、途中経過の値を目標値に設定した。							

②基本目標の評価

<b>【判断理由】</b> 数値目標の「社会増減数」については、平成28年度に引き続き平成29年度も転入超過となったことから、目標値を上回る結果となった。なお、「観光入込客数」については、2年度連続で減少し、依然として目標値達成に向けて厳しい状況にあることから、これらを総合的に勘案して、判定をBとした。 なお、社会増減数における転入超過については、主に外国人人口の増加が主因であることが考えられるが、外国人人口の増減については、市内企業の雇用環境など社会情勢の影響を強く受けることから、引き続き、実績値の推移を注視していく必要がある。	総合判定
	B
	まずまず進んだ

③今後の展開方針

本市の豊かな自然や歴史・文化のより一層の保全・活用を図り、地域資源の磨き上げを進めるとともに、それらを含めた本市の魅力について積極的かつ効果的な情報発信を行い、訪れるまちとして選ばれるよう、シティプロモーションを展開する。 また、地域のにぎわいづくりや活性化のため、JR亀山駅の周辺整備に係る事業を着実に推進するとともに、公共交通の再編・充実を通して中心市街地と生活拠点の効率的なネットワークを構築することにより、市民のみならず本市への来訪者にとっても快適なまちづくりを図る。 この他、災害時における地域での防災力の強化を図るため、引き続き、自主防災組織の結成に向けた支援を行うとともに、公共施設や都市インフラの補強・修繕等に取り組むことにより、誰もが住みたい安全なまちづくりを促進する。
--

④重要業績評価指標(KPI)の進捗

	指標	現状値	実績値					目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	H31		
まちのシーン① 訪れるまち	シティプロモーション専用サイトへの訪問者数(年間延べ人数)(人)	- (27年度)	-	7,834	36,646			100,000 (31年度)	37%
	伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率(%)	55 (26年度)	56	57 (実数 56.3)	56.5			58.8 (31年度)	96%
	移住相談後の移住件数(累計)(件)	- (27年度)	-	0	0			15 (31年度)	0%
まちのシーン② 快適なまち	立地適正化計画の策定	- (27年度)	-	計画案の策定	策定	-	-	H29.3	100%
	亀山駅周辺の再生(都市計画決定)	- (27年度)	-	未完了	完了 (H30.3)	-	-	H29.3	100%
	都市計画道路の整備率(%)	58 (26年度)	58	58	58.1			64 (31年度)	91%
まちのシーン③ 安全なまち	自主防災組織の結成率(%)	84 (27年度)	84.0	83.1	84.0			94.6 (31年度)	89%
	公共施設等総合管理計画の策定	- (27年度)	-	策定	-	-	-	H29.3	100%

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(平成29年度)

基本目標	Ⅱ 出産・子育てを支え、郷土愛を持つひとを育てる
------	--------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
合計特殊出生率	1.58 (25年度)	1.47	1.50	-			1.65 (31年度)	91%
数値目標の説明	一人の女性が一生のうちに出産する平均子ども数							
目標値設定の考え方	亀山市人口ビジョンの人口展望に基づき、近年の上昇傾向が維持するものとして算定した将来値を目標に設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
若年世代の未婚率(%)	男性 [20-29歳] 65.9 [30-34歳] 44.5 女性 [20-29歳] 48.3 [30-34歳] 24.7 (22年度)	男性 [20-29歳] 67.7 [30-34歳] 41.9 女性 [20-29歳] 51.1 [30-34歳] 26.9	H32年度の国勢調査にて把握				男性 [20-29歳] 64.0 [30-34歳] 40.0 女性 [20-29歳] 45.5 [30-34歳] 24.0 (32年度)	93%
数値目標の説明	「25～29歳」、「30～34歳」の人口に占める未婚者数の割合							
目標値設定の考え方	現在、本市の男性未婚率は、県内で20代後半が8位、30代前半が18位であり、女性未婚率は、両世代ともに県内4位の数値である。男性未婚率は県内の上位5位以内、女性未婚率は県内上位3位以内に入る数値を目標に設定した。							

②基本目標の評価

【判断理由】 数値目標の内、「合計特殊出生率」については、平成27年度から上昇しているものの、依然として現状値を下回っている。また、重要業績評価指標の内、「年間出生数」についても減少傾向にあり、平成27年度から平成29年度にかけて、若年女性の人口が減少してきていることが一因と考えられる。 一方、「婚活支援事業により出会いを得た人数」の増加や「保育所・放課後児童クラブの待機児童数」減少などから、各取り組みの着実な推進が確認できることから、これらを総合的に勘案して、判定をCとした。	総合判定
	C
	少し進んだ

③今後の展開方針

<p>少子化の大きな要因となっている未婚化・晩婚化を抑制するため、引き続き、独身男女の出会いの機会づくりを促進するとともに、婚活イベントで成立したカップルに対する支援を行う。また、妊婦健康診査や不妊・不育症治療等への支援を行い、安心して結婚・出産ができる環境づくりに努めていく。</p> <p>一方、子どもの福祉医療費への助成や教育サービスの充実を図るとともに、男性の育児休業取得促進に対する支援策の構築や共働き世帯の子どもに対する保育サービスを充実させることにより、仕事と家庭の両立を支援し、子育て世帯が住みたいまちとして更なる充実を図る。</p> <p>この他、中学校における職場体験学習や、本市の歴史・文化などに係る学習の機会の充実を図ることにより、地域への誇りや愛着心を醸成し、将来における本市への定着を促進していく。</p>
---

④重要業績評価指標(KPI)の進捗

	指標	現状値	実績値					目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	H31		
ライフステージ① 子ども・思春期	全国学力学習状況調査において「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答する児童生徒の割合(%)	小6:32.6 中3:30.0 (27年度)	小6:32.6 中3:30.0	-	小6:34.7 中3:28.1			小6:45.0 中3:33.0 (31年度)	81%
	高等学校等と連携した取組事業件数(累計)(件)	- (27年度)	-	0	4			5 (31年度)	80%
	職場体験学習生徒アンケートにおいて「あなたにとって進路や将来について考える機会になった」という肯定的な意見の割合(%)	82 (27年度)	-	83	88			85 (31年度)	104%
ライフステージ② 結婚・出産	婚活支援事業により出会いを得た人数(累計)(人)	- (27年度)	-	61	115			500 (31年度)	23%
	年間出生数(人)	458 (26年度)	430	414	371			475 (31年度)	78%
ライフステージ③ 子育て	「せいかつちゃれんじシート」に取り組んだ家庭の割合(%)	62 (26年度)	64	59	68			80 (31年度)	85%
	保育所・放課後児童クラブの待機児童数(毎年4月1日)(人)	[保育所]9人 [放課後]0人 (27年度)	[保]9人 [放]0人	[保]6人 [放]0人	[保]3人 [放]0人			0 (31年度)	67%
	男性の育児休業取得に積極的に取り組む事業所への支援策の構築	- (27年度)	-	検討中	検討中			H28.12	0%

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(平成29年度)

基本目標	Ⅲ 若者の未来への希望を応援し、暮らしを支える
------	-------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
若者の定住意向 (「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と回答する20歳代以下および30歳代の市民の割合)(%)	73.5 (27年度)	73.5%	H30年度の 市民アンケートにて 把握				75.0 (30年度)	-
数値目標の説明	「ずっと住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と回答する「20歳代以下」および「30歳代」の市民の割合							
目標値設定の考え方	現在の定住意向は、「20歳代以下」で64.8%、「30歳代」で80.3%となっています。特に「20歳代以下」の定住意向を70%にまで引き上げ、若者世代の定住意向を75%とすることを目標に設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
数値目標の説明								
目標値設定の考え方								

②基本目標の評価

【判断理由】 重要業績評価指標の内、「企業立地件数」については、平成29年度は新規立地がなかった。また、「公民館講座、行政出前講座の直近3年間の受講者数の平均」については、昨年度より減少し、現状値からも下回る結果となった他、「市内運動施設の年間利用率」についても、実績が横ばいとなっている。 一方、「奨学資金等に対する支援制度の構築」及び「若者世帯向け住宅取得支援制度の構築」については、財源確保の観点から直接の制度の構築には至らなかったものの、関連する支援制度として、平成30年度から新たに「UJターン促進事業」及び住宅金融支援機構との連携による金利優遇制度を構築し、実施している。これらに加え、「若者交流推進会議の登録者数」については、目標値の達成に向けて順調に進捗していること等を総合的に勘案して、判定をCとした。	総合判定
	C
	少し進んだ

③今後の展開方針

引き続き、就労の場の確保と雇用の機会の創出を図るため、企業誘致や既存企業の事業拡大による産業の集積を図るとともに、亀山商工会議所や金融機関と連携した起業支援を行うなど、若者にとって魅力的な就労環境の実現を図る。 また、「UJターン促進事業」の着実な推進によって若者世代の転入を促進するとともに、空家リフォームに対する支援内容を拡充し、若年世代が住みよいまちを目指す。 この他、余暇を快適に過ごすことができる環境を整えるため、引き続き、かめやま若者未来会議を中心として、若者が楽しく交流する基盤の充実を図るとともに、平成30年の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)や平成33年の第76回国民体育大会(国体)の開催を契機として、スポーツに親しむ機会づくりを促進し、健康の維持・増進や地域スポーツの活性化を図る。
---

④重要業績評価指標(KPI)の進捗

	指標	現状値	実績値					目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	H31		
ライフシ-ン① 働く	企業立地件数(累計) (件)	2 (27年度)	2	4	4			6 (31年度)	67%
	奨学資金等に対する 支援制度の構築	- (27年度)	-	検討中	関連支援 制度を 構築			H28.12	0%
ライフシ-ン② 遊ぶ・楽しむ	公民館講座、行政出 前講座の直近3年間の 受講者数の平均 (年間延べ人数)(人)	23,165 (24-26年度)	24,103	24,615	22,468			26,500 (29-31年度)	85%
	市内運動施設の年間 利用率(%)	74.6 (26年度)	72.0	71.9	72.1			76.0 (31年度)	95%
	(仮称)若者交流推進 会議の登録者数(累 計)(人)	- (27年度)	-	35	43			50 (31年度)	86%
ライフシ-ン③ 住む	若者世帯向け住宅取 得支援制度の構築	- (27年度)	-	検討中	関連支援 制度を 構築			H28.12	0%
	空き家情報バンク登 録物件の契約成立数 (累計)(人)	4 (27年度)	4	8	9			21 (31年度)	43%

亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート(平成29年度)

基本目標	IV つながり、見守り、助けあえる地域社会をつくる
------	---------------------------

①数値目標の進捗

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
まちの住みよさ ('住みやすい'、'どちらかと言えばすみやすい'と回答した市民の割合)(%)	72.9 (27年度)	72.9	H30年度の 市民アンケートにて 把握				78.5 (30年度)	-
数値目標の説明	「住みやすい」、「どちらかと言えばすみやすい」と回答した市民の割合							
目標値設定の考え方	現在の調査で、「どちらとも言えない」と回答した市民(17.2%)のうち、3分の1の市民が住みやすいと回答することを目標に設定した。							

項目	現状値	実績値					目標値	達成度
		H27	H28	H29	H30	H31		
数値目標の説明								
目標値設定の考え方								

②基本目標の評価

【判断理由】 重要業績評価指標の内、「まちづくり計画を策定した地域まちづくり協議会の数」については、平成29年度の実績値は12に留まった。しかし、平成30年5月までに全ての地域まちづくり協議会で計画が策定されたことから、H30年度実績において目標値を達成する見込みであり、地域社会の仕組みの構築に向けて順調に進捗していると考えられる。 一方、「健康づくり応援隊養成講座の修了者数」については、平成29年度は講座を開催しておらず、これらを総合的に勘案して、判定をBとした。	総合判定  <b>B</b>  まずまず進んだ
---	-------------------------------------

③今後の展開方針

<p>市内22地区の地域まちづくり協議会が、地域まちづくり計画に基づく計画的かつ主体的な活動を行っていきけるよう、引き続き、経済的な支援を行うとともに、亀山市地域まちづくり協議会連絡会議と連携し、ファシリテーション技術を学ぶ研修会を開催するなど、地域の担い手育成支援を行う。</p> <p>また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、引き続き、介護支援や健康診査等に取り組み、市民の健康の維持増進を図るとともに、地域における助け合い・支え合い活動を促進し、地域まちづくり協議会において福祉課題を解決する仕組みを構築していく。</p>
--



④重要業績評価指標(KPI)の進捗

	指標	現状値	実績値					目標値	達成度
			H27	H28	H29	H30	H31		
—	まちづくり計画を策定した地域まちづくり協議会の数(累計)(組織)	0 (26年度)	3	4	12			22 (31年度)	55%
	健康づくり応援隊養成講座の修了者数(累計)(人)	72 (26年度)	99	121	121			150 (31年度)	81%



## 4. 地方創生関連交付金活用事業の 効果検証

# 事業効果検証シート

## 1. 基本事項

事業名称	若者交流推進事業	部課名	総合政策部政策課(政策調整G)
施策体系	基本目標	Ⅲ 若者の未来への希望を応援し、暮らしを支える	
	シーン・ステージ	ライフシーン② 遊ぶ・楽しむ	
	取組項目	3)若者が交流する機会の充実	
	重点プロジェクト	若者の暮らし充実プロジェクト	

## 2. 事業計画

背景・概要	<p>【地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)】</p> <p>①若者同士が活発に交流し、市の事業への積極的な参画を通じて、地域に活力が生まれている。 ②本事業により交流した若者が地元愛を持ち、自ら地域を盛り上げる活動を展開している。</p> <p>【地方創生の実現における構造的な課題】</p> <p>①若者が交流する機会や、主体的にまちづくりや市政に参画する基盤がない。 ②市の事業への若者の参画が少ない。また、事業の内容が若い世代の視点に欠けており、若い世代が集まらない。 ③若者のまちづくりへの参画に対する意識は低く、本市への地元愛や誇りの低下に繋がっている。</p> <p>【交付対象事業の概要】</p> <p>「若者交流会議」を設置し、若者同士が交流する基盤を確保するとともに、市の事業への参画や事業立案等を通じ、会議メンバーによる主体的な活動を促進する。また、会議メンバーへのスキルアップ研修を行い、次世代を担うまちづくり人材の育成を図る。</p> <p>【交付対象事業が構造的な問題の解決に寄与する理由】</p> <p>若者会議は、若者同士が交流する基盤を担うものであり、若者の市事業への参画が少ない現状や、主体的なまちづくりへの参画に対する意識の低下に起因する負のスパイラルを打開するものである。またこれらの活動を通じて地元愛の醸成を図ることにより、若い世代の定住促進に繋げるものである。</p>		
	対象経費の内訳(単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メンバー会議等の開催に係る消耗品費等(130)</li> <li>●メンバーの人材育成(スキルアップ研修等)に係る委託料等(134)</li> <li>●市事業への参画に係る消耗品費等(20)</li> <li>●その他(177)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力団体等への報償費等</li> <li>・活動の情報発信に係る印刷製本費等</li> </ul> </li> </ul>	
事業費			
予算額(円)		決算額(円)	
656,000(328,000)		460,988(240,894)	
		執行率(%)	
		70.3%	

( )内は、一般財源額を示す。

## 3. 事業の取組成果

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり先進地の視察:2回             <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県鯖江市(地域活性化プランコンテストの事例など)</li> <li>・静岡県焼津市(行政への政策提言の事例など)</li> </ul> </li> <li>○市内行事への参加:1回             <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀山大市にて、亀山茶を活用した「亀山茶あげばん」の販売</li> </ul> </li> <li>○スキルアップ研修の実施:1回             <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション研修</li> </ul> </li> <li>○かめやま若者未来会議活動報告会の開催:1回             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や市内団体等との交流</li> <li>・ゲストによる活動紹介と意見交換</li> <li>・地域活性化に取り組む団体による、地元食材を活用した昼食のふるまい</li> </ul> </li> <li>○メンバー会議の開催:7回             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の検討や市内行事への出店準備など</li> </ul> </li> </ul>		
効果	2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方創生に非常に効果的であった</li> <li>2. 地方創生に相当程度効果があった</li> <li>3. 地方創生に効果があった</li> <li>4. 地方創生に対して効果がなかった</li> </ol>	<p>(理由)</p> <p>メンバー会議を交流の基盤として、様々な活動を行い、若者同士の交流を促進できた。 具体的には、若者が中心となってまちづくりを行う先進事例の視察を通して、まちづくりについての見聞を広めるとともに、他地域の若者等と交流できたほか、プレゼンテーション研修を実施し、メンバーのスキルアップに寄与した。また、亀山大市への出店を通して、楽しみながらまちの盛り上げに参画することができたことに加え、活動報告会では、自治会関係者や市民団体等との交流を通じて、今後の活動に資するつながりを構築できたことから、地方創生に相当程度効果があったといえる。</p>

#### 4. 重要業績評価指標(KPI)

指標名称	指標値	実績値	単位	目標年月
若者会議の登録者数(累計)	30	43	人	平成30年3月
若者会議が参画した市の事業・イベント数	2	2	件	平成30年3月
若者会議が立案・実施した事業・イベント数	0	1	件	-

#### 5. 外部有識者の総合評価

総合戦略KPI 達成への有効性	1	1. 本事業が総合戦略のKPI達成に有効であった 2. 本事業は総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
意見		<p>様々な属性の若者が自主的に交流しており、非常に良い取組である。            今後は、楽しみながら活動することに主眼を置きつつ、市の政策課題等と連動して、若者ならではの目線を生かしたまちづくりアイデアの検討・提言に取り組むなど、活動をステップアップさせていくことが重要である。            また、中学生や高校生と連携・交流する機会を設けることによって、地域に根差した活動に幅広く取り組むことも求められる。</p> <p>そのためには、新たな仲間づくりや主体的に活動するメンバーの充実を図る必要があることから、メンバー自らがブログやSNS等で発信する機会の創出や、事業所に向けた積極的な情報提供及び啓発などを行うことにより、交流の輪が広がり、より活動が活性化することを期待する。</p>

#### 6. 今後の事業展開

今後の方針	1	1. 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し(改善)を行う(行った) 3. 特に見直しを行わず、事業を継続する 4. 継続的な事業実施を予定していたが中止した 5. 当初の予定通り事業を終了した
今後の事業展開 の考え方		<p>かめやま若者未来会議主催のイベント等を実施するなど、メンバーが企画・運営を行う機会を創出することにより、より主体的かつ積極的なまちづくりへの参画を促進していく。その際、メンバーが無理なく企画・運営能力を身につけていけるよう、懇親会など簡易な企画からメンバー主導で実行していける雰囲気づくりを行っていく。また、引き続き、まちづくり先進地の視察や研修等を通じてまちづくりへの理解・関心を深めるとともに、そうした経験から得たまちづくりに対する課題や疑問等を基に、若者目線での具体的な政策アイデアを検討する機会を設ける。</p> <p>この他、メンバーがより楽しく交流できる場づくりを進めるとともに、活動をPRし、主体的に地域の盛り上げに取り組むメンバーの充実を図る。</p> <p>これらの取り組みを通じて、地元愛や誇りを醸成し、若者世代の本市への定着を促進していく。</p>

# 亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成29年度 対象事業一覧表

## 基本目標Ⅰ:まちの魅力や価値を高め、選ばれる都市をつくる

### 01:訪れるまち

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:魅力ある地域情報の発信	ホームページ情報発信事業	広報秘書室	○	シティ
	シティプロモーション推進事業	広報秘書室	○	シティ
	観光プロモーション推進事業	観光振興室	○	シティ
02:地域の魅力の磨き上げ	伝統的建造物群保存修理修景事業	まちなみ文化財室	○	
	「関の山車」会館整備事業	まちなみ文化財室	○	
	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	森林林業室	○	
	森林環境創造事業	森林林業室	○	
	中山間地域等直接支払交付金事業	農政室	○	
	多面的機能発揮促進事業	農政室	○	
	中山間地域活性化事業	農政室		
	かめやま文化年事業	文化スポーツ室	○	
03:移住・交流の促進	移住交流促進事業	企画政策室	○	
合計（12事業）				

### 02:快適なまち

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:機能的な都市づくりの推進	水道生活基盤整備事業	上水道室	○	
02:魅力ある拠点づくりの推進	亀山駅周辺整備事業	都市計画室	○	
03:快適な交通ネットワークの構築	地域生活交通再編事業	商工業振興室	○	
	都市計画道路整備事業(和賀白川線)	道路整備室	○	
	都市計画道路整備事業(野村布気線)	道路整備室	○	
	高速交通促進事業	企画政策室	○	
合計（6事業）				

### 03:安全なまち

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:まちの防災力の強化	地震対策・木造住宅補強事業	危機管理室	○	
	橋梁耐震化補強事業	維持修繕室	○	
	長妻池耐震整備事業	農政室	○	
	自主防災組織育成事業	危機管理室		
	消防団管理運営活動費(消防団充実強化)	消防総務室		
02:持続可能な社会資本管理の推進	橋梁長寿命化修繕事業	維持修繕室	○	
	舗装老朽化対策事業	維持修繕室	○	
	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町・みずほ台地区)	下水道室	○	
合計（8事業）				

## 基本目標Ⅱ:出産・子育てを支え、郷土愛を持つひとを育てる

### 01:子ども・思春期

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
02:自分の人生を考えるための教育の推進	中学校体験活動支援事業	教育研究室		
合計（1事業）				

### 02:結婚・出産

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:出会い、結婚の機会づくりへの支援	婚活支援事業	企画政策室	○	若者
02:出産への希望と安心の環境づくりの推進	妊婦健康診査支援事業	長寿健康づくり室	○	子育て
	不妊・不育症治療費助成事業	長寿健康づくり室	○	子育て
合計（3事業）				

### 03:子育て

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:魅力ある就学前教育・保育の推進	かめやまげんきっこ育成事業	子ども家庭室	○	子育て
	子育て学習展開事業	生涯学習室		子育て
	幼児教育推進事業	教育研究室		子育て
02:不安なく子育てできる環境づくり	福祉医療費助成事業(子ども)	保険年金室	○	子育て
	子どもの出生祝金事業	保険年金室		子育て
	放課後児童クラブ事業	子ども家庭室	○	子育て
	長期休暇子どもの居場所事業	子ども家庭室	○	子育て
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習室	○	子育て
03:仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	男女共同参画事業	共生社会推進室		子育て
	ワーク・ライフ・バランス推進事業	共生社会推進室	○	子育て
合計（10事業）				

## 基本目標Ⅲ:若者の未来への希望を応援し、くらしを支える

### 01:働く

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:魅力ある雇用の場づくりと安定雇用の促進	産業振興奨励事業	商工業振興室	○	
	特産振興事業(特産品発掘育成支援)	農政室		
02:若者の雇用対策の推進	創業支援事業	商工業振興室	○	
合計 (3事業)				

### 02:遊ぶ・楽しむ

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:自分磨きができる環境づくりの推進	地域人材キラリ育成事業	生涯学習室	○	
02:充実した余暇を過ごせる環境づくりの推進	西野公園改修事業(公園施設)	都市計画室	○	若者
	西野公園改修事業(運動施設)	文化スポーツ室	○	若者
	文化会館等大規模改修事業	文化スポーツ室	○	若者
	総合型地域スポーツクラブ育成事業	文化スポーツ室		
03:若者が交流する機会の充実	若者交流推進事業	企画政策室	○	若者
合計 (6事業)				

### 03:住む

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
02:地域特性を活かした空き家活用の促進	空家等活用事業	営繕住宅室	○	
合計 (1事業)				

## 基本目標Ⅳ:つながり、見守り、助けあえる地域社会をつくる

取組項目名	事業名	室名	主要	重点P
01:自立した地域のまちづくりの支援	地域まちづくり協議会支援事業	地域づくり支援室	○	
	市民参画協働事業	共生社会推進室		
	市民活動応援事業	共生社会推進室	○	
02:安心してくらし続けられる地域づくりの推進	健康づくり事業	長寿健康づくり室		
	がん検診推進事業	長寿健康づくり室	○	
	予防接種費用助成事業	長寿健康づくり室	○	
	特定健康診査・特定保健指導事業	保険年金室	○	
	介護保険地域支援事業(総合事業)	長寿健康づくり室	○	
	介護保険地域支援事業(任意事業)	長寿健康づくり室	○	
	地域包括支援センター運営事業	長寿健康づくり室	○	
	地域包括支援事業(社会保障充実分)	長寿健康づくり室	○	
	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	長寿健康づくり室	○	
	地域医療連携システム導入事業	医事管理室	○	
合計 (13事業)				



